

ごみと上手につき合つていこう③

燃えるごみ？燃えないごみ？ アルミホイルの区分

子供たちの遠足や運動会などの弁当に使うアルミホイルは、どのように分別をすればよいのだろうか？

皆さんも疑問に思つたことはありますか？

以前に自宅でごみを燃やしていた頃は、燃え残つてしまつたので燃えないごみに出すのが良いのか、アルミとついているので金属類に分別するべきか？

本当に難しいと思います。アルミホイルは、他の金属類や空き缶などと比べて溶ける温度が低いため、再生利用をすることが難しいので資源ごみとして回収することは困難です。

家庭用の焼却炉では、燃焼温度が低く燃え残つてしまいますが、ごみ処理場の焼却炉は、高温で燃焼する

ため燃え残るような事はありませんので、「燃えるごみ」として出してください。また、家庭でごみを燃やす事は、原則として禁止されています。原則として禁止されていますので、ご注意ください。



アルミホイルの箱には、最近は紙製の歯が付いているものがあります。これはとらなくてもそのまま紙類として出すことができます。



日吉小5年 實川 隼輔くん

〈ポスターの部〉

優 良



東陽小4年 横渡 大輝くん



東陽小6年 高橋 智彦くん



光中1年 水野 将吾くん



光中2年 實川 麻美さん

みんなの力で 栗山川をきれいにしよう

栗山川汚染防止対策協議会では、栗山川沿岸市町村の小学生から栗山川の汚染防止や、ごみの不法投棄に関する作文・標語・ポスターを募集し、その結果次の児童・生徒が入賞しました。